

令和4年度「はばたき」応援プロジェクト実施要項

1 趣旨

卒業式は、卒業生にとって区切りとしての「終わり」であるばかりでなく、次の生活への出発という「始まり」の意味も持ちます。また、児童が自らの成長に誇りをもち、支えてくれた人々(仲間や保護者、教職員等)へ感謝と将来への決意(立志)を示す機会ともなります。そして、卒業式は何よりも最初で最後、やり直しの機会がない行事です。これらを踏まえ、各小学校では子どもたちが「卒業する成長した姿」という“型”を示す指導のみならず、様々な取組を実施しています。

そこで、公益財団法人 日本教育公務員弘済会埼玉支部(以下「当支部」という。)では、「はばたき」応援プロジェクトを実施して、重要な学校行事のひとつである卒業式等に関して各小学校の実施する特色ある取組を支援することで、更なる教育の振興に寄与することを目的とします。

2 申請要件

- (1) 上記1の趣旨に沿って、卒業式等に関わる特色ある取組を実践しようとする小学校を対象とする。
- (2) 申請する小学校は、教育課程(特別活動、総合的な学習の時間)等に位置付けて実施する。

3 申請手続

「助成申請書・実施計画書」(別紙1)に助成金振込先金融機関通帳のコピーを添付し、申請する。

4 申請期間 令和4年10月3日(月)～11月30日(水)

5 審査・選考

- (1) 申請校から提出された「助成申請書・実施計画書」等を踏まえるとともに、以下の(2)審査・選考の観点を検討して、総合的に当支部の教育振興事業選考委員会が審査・選考を行う。

(2) 審査・選考の観点

- ア 上記「1 趣旨」に沿った取組であること。
- イ 特色ある取組であること。
- ウ 組織的な取組であること。
- エ 計画的・継続的な取組であること。
- オ 保護者や地域等と連携した取組であること。

6 助成内容

審査・選考の上、80校程度に研究助成金として、1校3万円を贈呈する。

7 報告

助成を受けた学校は、実施した取組の成果を、令和5年3月27日(月)までに「活動成果報告書」(別紙2)に関係資料等を添付して報告する。

なお、提出された「助成申請書・実施計画書」、「活動成果報告書」及び資料等は、当支部が公表できるものとする。

附則 平成31年4月1日 制定施行

令和4年度 「はばたき」 応援プロジェクト 助成申請書・実施計画書

令和4年 月 日

公益財団法人

日本教育公務員弘済会埼玉支部

支部長 細田 宏

貴支部の「はばたき」応援プロジェクトの助成を受けたく、「助成申請書・実施計画書」に助成金振込先金融機関の通帳の写しを添えて申請します。

学校名		校長名	<input type="text"/>
所在地	〒 _____		
電話		F A X	<input type="text"/>
取組の概要・特色 (ねらい、内容、実施計画、保護者や地域等との連携などについて具体的に記入)	実施する取組	<input type="text"/>	
	<input type="text"/>		
助成金の主な用途	<input type="text"/>		
助成金振込先	信金・農協	口座番号	<input type="text"/>
	銀行 _____ 支店 _____	<input type="text"/>	
	フリガナ 名 義 人	<input type="text"/>	

- ※1 貼付例により、**振込先金融機関通帳のコピー**を必ず添付してください。
 ※2 **名義人**の名称を**正確に記入**し、**必ずフリガナ**をつけてください。

令和4年度 「はばたき」 応援プロジェクト 活動成果報告書

令和 年 月 日

公益財団法人

日本教育公務員弘済会埼玉支部

支部長 細田 宏

貴支部の助成を受けて実施した「はばたき」応援プロジェクトが終了したので、関係資料等を添えて「活動成果報告書」を提出します。

学校名		校長名	公印
実施した取組			
助成金の 主な用途			
取組・成果の 概要 (※取組の内容、 成果、保護者や 地域等との連携 などについて具 体的に記入)			
関係資料等			

※1 取組・成果の概要には、実施した取組の内容、成果、保護者や地域等との連携などについてご記入ください。

※2 関係資料等は別添としてください。